



# スポーツ秋田

題字：辻 兵吉 元県体協会長



レスリング競技 成年男子グレコローマンスタイル77kg級  
櫻庭 功大



ローイング競技 少年女子シングルスカル  
小松 煌



ラグビーフットボール競技 成年男子チーム

[写真：公益財団法人秋田県スポーツ協会]

## contents

◎わたSHIGA輝く 国スポ2025 優勝者インタビュー	2
◎第79回国民スポーツ大会 本大会 入賞一覧	4
◎第79回国民スポーツ大会 成績と前年度比較	5
◎国スポ戦略ミーティング・第79回国民スポーツ大会秋田県選手団報告会	6
◎第80回国民スポーツ大会冬季大会に向けて	7
◎高校スポーツ2025 いざ、冬の陣!	8
◎期待のジュニアアスリート VOL.20	10
◎令和7年度秋田県中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト パフォーマンステスト	11

◎第48回秋田県スポーツ少年団(競技別)交流大会 第52回日独スポーツ少年団同時交流派遣・受入事業	12
◎令和7年度中間支援組織を活用した地域のスポーツ環境整備強化事業 各地区共催事業	13
◎『2025アスリート支援・企業セミナー』開催報告	14
◎トップアスリートの雇用企業に対して感謝状を贈呈しました	15
◎県内スポーツの主なできごと	16
◎賛助会員/会議録(抄)/令和7年度関係団体創立記念行事一覧/ 編集後記	17

オフィシャルパートナー

※五十音順

**ISUZU**  
秋田いすゞ自動車株式会社



秋田県新聞



厚生ビル管理株式会社

株式会社 光風舎

資源がめぐる真ん中に。  
**DOWA**

富士フイルム BI 秋田

**YOKOUN**



## わたSHIGA輝く 国スポ2025 優勝者インタビュー

2連覇おめでとう!!

2年連続3度目

レスリング競技 成年男子  
グレコローマンスタイル77kg級  
さくらば こうだい  
櫻庭 功大 選手  
(自衛隊体育学校)



### 1 「わたSHIGA輝く国スポ2025」に向けて重点的に取り組んできたこと

国スポに向けて6月に行われた明治杯の課題として前にプレッシャーをかけ続けること、相手より先に攻めて相手が有利な展開に持ち込ませないことを意識して取り組んできました。またグランドの展開でも攻めでは必ず得点を取る、守りでは必ず得点をやらないことを意識して取り組みました。

### 2 「わたSHIGA輝く国スポ2025」を振り返って

優勝することができ、また秋田県に貢献することができて嬉しく思います。しかし、この大会に向けて取り組んできたことがあまり出せなかったので少し悔しい気持ちです。この国スポで得られた経験、課題をしっかり自分の糧にして次の大会に向けて頑張っていきたいと思います。

### 3 キャリアの中で学んだ教訓、心掛けていること

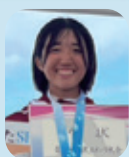
選手を続けていく中でいつも指導、応援、支援してくださっている方々のおかげで、選手を続けられていると思っています。その方々に感謝の気持ちを持って練習に取り組まなければいけないし、感謝を伝えるための一つの方法として全力で試合をして結果を残していくこと、最後まで諦めずに試合をすることを心掛けています。

### 4 秋田の子どもたちへ、スポーツ・自競技の魅力を伝えてください

レスリングだけではなくスポーツ全体で言えることではあるのですが、私はレスリングを通じて礼儀や感謝の気持ち、そしてリスペクトを持つことなどたくさんのことを教えていただきました。挨拶やありがとうなどの感謝の気持ちを伝えること、敬意を持って接することをとても大事にしています。秋田県を盛り上げていきましょう!

優勝おめでとう!

ローイング競技 少年女子  
シングルスカル  
こまつ あき  
小松 煌 選手  
(本荘高校)



### 1 「わたSHIGA輝く国スポ2025」に向けて重点的に取り組んできたこと

春の全国大会からU19の国際大会にかけ、2000mレースの後半からスピードを伸ばしていくことが得意になり、スタートからのスプリント力が足りないことが課題となっていました。国スポは1000mのレースになるので短い距離で自分自身の力を出し切ることや、スタートからゴールまで速いリズムで漕ぎ通すことを目標に、練習の中で艇のスピードを追求し続け練習を積み重ねました。

### 2 「わたSHIGA輝く国スポ2025」を振り返って

SAGA2024国スポでは少年女子ダブルスカルに出場し、準優勝という結果でした。自分のミスにより、優勝を逃してしまい、先輩と優勝することができなかったことに悔しい気持ちでいっぱいでした。だからこそ、今年の国スポ優勝にかける思いはとても強く持っていました。U19日本代表選手としてのプレッシャーもありましたが、一番はレースを全力で楽しむことを大切にしました。去年のリベンジができたことや応援してくださった方々に優勝を報告できたことをとても嬉しく思っています。

### 3 キャリアの中で学んだ教訓、心掛けていること

私は競技に取り組むうえで、感謝の気持ちを忘れないことを心がけています。優勝できたのは支えてくださる先生、コーチ、家族、そして、応援してくださったたくさんの方々のおかげです。またこの大会に限らず、この競技を全力で楽しみ、取り組むことができているのも支えてくださっている方々のおかげです。これからも感謝の気持ちを忘れず、たくさんの方々に恩返しできるように一生懸命頑張ります。

### 4 スポーツ・自競技の魅力を教えてください

ローイング競技は様々な種目があり、人数が増えるほど艇のスピード感や迫力が変わってきます。一人乗りにおいても、様々な技術によって生まれる艇のスピード感はとても魅力的です。複数人で漕ぐ種目では、動きやタイミングなどがぴったり合ったときの一体感は漕いでいる側も観ている側も楽しむことができると思います。また、練習を積み重ね、勝利を勝ち取ったときの喜びはこれまでの努力が形となって実感できる特別な瞬間です。水面を進む爽快感と、仲間との絆が生み出す達成感が、ローイングの大きな魅力だと思います。

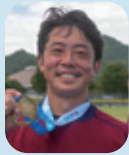
**優勝おめでとう！**

ラグビーフットボール競技

成年男子 7人制

橋本 憲 選手兼監督

(ハシケンラグビー教室 代表)

**1 「わたSHIGA輝く国スポ2025」に向けて重点的に取り組んできたこと**

私たちが最も重視したのは“根性”です。セブンズは根性のスポーツであり、細部へのこだわりが勝敗を分けます。指先まで神経を尖らせたプレーや試合中の緻密なコミュニケーションは、根性がなければ成立しません。秋田7'sの選手たちは、1年間、狂気的とも言えるほどの根性をむき出しにして練習を重ねました。その結果、他に類を見ない結束力を得ることができ、自分たちのやるべきことに集中し続けたことで、日本一の“根性”を証明できたと確信しています。

**2 「わたSHIGA輝く国スポ2025」を振り返って**

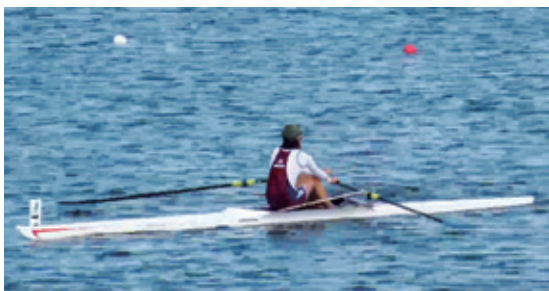
大会期間中は常に緊張感があり、秋田7'sとして非常に価値ある経験となりました。この成果は一過性のものではなく、来年以降も継続・再現すべきものです。新たなメンバーが加わるならば、この文化と覚悟をしっかりと伝えていきたいと思います。私たちは日本一のチームです。これからは常勝軍団として、秋田、そして東北のラグビーを変えていく使命があります。日本の男子セブンズはまだ発展途上です。しかし、その未来を秋田が体現したと信じています。

**3 キャリアの中で学んだ教訓、心掛けていること**

私がこの1年で学んだ教訓は「強気に決める」ことです。ゲームメーカーとして、プレーの選択や得点の場面で迷わず決断する力が求められます。しかし、今回の大会ではその部分において自分の根性がまだ足りなかったと痛感しました。今後さらに経験を積み、絶対的なゲームメーカーとして、どんな場面でも「強気に決める」ことができるよう、日々の練習を続けていきます。

**4 秋田の子どもたちへ、スポーツ・自競技の魅力を伝えてください**

セブンズラグビーは、15人制とはまったく異なる魅力を持つ競技です。スピード感があり、ラグビーを知らない人でも楽しめる分かりやすさがあります。そして何より、1人のスター選手だけでは勝てないのがセブンズです。私たちは無名の集団でしたが、それでも全国優勝できました。大学や社会人から始めた選手もいます。それでも勝てたのは“根性”があったからです。セブンズの魅力は、根性がすべてを可能にするところにあります。



【小松選手】



【櫻庭選手(上)】



【左から橋本選手、老田選手、安藤選手、工藤選手、大塚選手、佐藤(顕)選手、佐藤(亮)選手、モセセ選手、丸尾選手、モセイトゥバ選手、小林選手】



## 第79回国民スポーツ大会 本大会 入賞一覧

【会期前①】 令和7年9月6日(土)～9月15日(月) 滋賀県

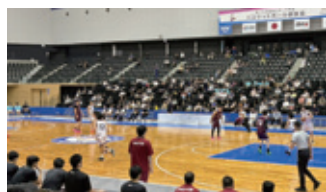
【会期前②】 令和7年9月21日(日)～9月25日(木) 滋賀県、京都府

【本会期】 令和7年9月28日(日)～10月8日(水) 滋賀県、兵庫県、大阪府

〈入賞者一覧〉

入賞数：28(昨年27)

順位	点数	競技名	種別	種目	氏名	所属
1位	40	ラグビーフットボール	成年男子			チーム秋田
	8	レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル77kg級	櫻庭 功大	自衛隊体育学校
	8	ローイング	少年女子	シングルスカル	小松 煌	本荘高校
2位	35	バスケットボール	成年男子			チーム秋田
3位	6	カヌーSL/WW	成年男子	スラローム・カナディアンシングル(25G)	佐々木将汰	万六建設(株)
	6	カヌーSL/WW	成年男子	スラローム・カナディアンシングル(15G)	佐々木将汰	万六建設(株)
	30	バレーボール(6人制)	少年男子			チーム秋田
	5.5	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル65kg級	佐々木瑞樹	秋田商業高校
	6	ライフル射撃	少年女子	ビーム・ピストル(60発)	三浦 寿花	秋田高校
4位	5	ウエイトリフティング	少年男子	102kg級クリーン&ジャーク	沢田石柚介	金足農業高校
5位	4	水泳(競泳)	成年女子	自由形100m	高橋 凜	筑波大学
	2.5	レスリング	女子	フリースタイル62kg級	岩澤 希羽	秋田ノーザンハピネッツ(株)
	2.5	レスリング	少年男子	フリースタイル55kg級	門間 秋翔	秋田商業高校
	2.5	レスリング	少年男子	フリースタイル92kg級	桑島 壮平	秋田高校
	2.5	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル71kg級	嶋田 悠大	秋田商業高校
	4	馬術	少年男子	自由演技馬場馬術	藤原 駿	横手高校
6位	3	水泳(競泳)	成年女子	自由形50m	高橋 凜	筑波大学
	3	馬術	少年	馬場馬術	藤原 駿	横手高校
	9	フェンシング	少年女子	フルーレ		チーム秋田
7位	2	ウエイトリフティング	少年男子	102kg級スナッチ	沢田石柚介	金足農業高校
	2	陸上競技	少年女子A	300mH	岡本 花	秋田中央高校
	2	陸上競技	少年女子A	300mH	岡本 花	秋田中央高校
8位	1	カヌーSL/WW	成年男子	スラローム・カヤックシングル(15G)	三島 遊	万六建設(株)
	3	フェンシング	成年女子	フルーレ		チーム秋田
	3	フェンシング	成年女子	エペ		チーム秋田
	1	自転車	男子B	スプリント	高橋 康晟	大曲農業高校
	1	ウエイトリフティング	少年男子	55kg級スナッチ	深井 陽登	金足農業高校
	1	ウエイトリフティング	少年男子	55kg級クリーン&ジャーク	深井 陽登	金足農業高校
	1	ライフル射撃	少年男子	10mエア・ライフル(60発)	渡邊 結翔	秋田工業高校



バスケットボール 成年男子



ウエイトリフティング 成年男子



相撲 成年男子



フェンシング 成年男子



陸上競技 少年女子A



バレーボール 少年男子



ライフル射撃 少年女子



剣道 成年男子



水泳(競泳) 少年男子A



## 第79回国民スポーツ大会 成績と前年度比較

●第79回国スポ 総得点 289.5点 + 参加点400点 = 689.5点

●第78回国スポ 総得点 284.0点 + 参加点400点 = 684.0点

	冬季国スポ	本国スポ	天皇杯得点	天皇杯順位	皇后杯得点	皇后杯順位
第79回	122.0点	567.5点	689.5点	45位	420.5点	45位
第78回	140.5点	543.5点	684.0点	45位	450.0点	42位

## 【第79回国スポ 総合成績】

## 【第78回・第79回 得点一覧比較】

■：種目なし

—：出場なし

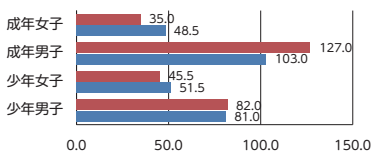
数値：獲得得点

天 皇 杯 (男女総合得点)			皇 后 杯 (女子総合得点)		
県名	順位	得点	県名	順位	得点
滋賀	1	2,488.00	滋賀	1	1,244.50
東京	2	2,354.33	東京	2	1,128.33
京都	3	1,730.50	京都	3	986.00
大阪	4	1,658.00	愛知	4	977.33
愛知	5	1,598.83	大阪	5	909.00
神奈川	6	1,505.50	兵庫	6	861.00
埼玉	7	1,451.00	千葉	7	790.00
千葉	8	1,450.50	神奈川	8	790.00
福岡	9	1,442.50	岐阜	9	784.00
兵庫	10	1,338.00	福岡	10	739.50
北海道	11	1,334.00	埼玉	11	733.50
岐阜	12	1,298.00	福井	12	706.50
佐賀	13	1,279.50	長野	13	685.83
福井	14	1,278.50	青森	14	666.00
三重	15	1,138.00	広島	15	662.50
静岡	16	1,108.50	佐賀	16	659.50
愛媛	17	1,107.00	岡山	17	635.00
広島	18	1,076.50	北海道	18	625.00
長野	19	1,075.33	熊本	19	622.50
岡山	20	1,040.50	愛媛	20	619.00
栃木	21	1,029.50	三重	21	603.00
鹿児島	22	1,010.00	奈良	22	602.00
青森	23	975.50	宮城	23	593.50
奈良	24	955.50	静岡	24	588.50
大分	25	930.00	栃木	25	584.00
福島	26	922.00	香川	26	572.00
熊本	27	921.50	鳥取	27	567.50
長崎	28	907.50	大分	28	565.50
新潟	29	901.00	山口	29	563.50
香川	30	898.50	山形	30	542.50
宮崎	31	891.50	新潟	31	542.00
石川	32	889.00	山梨	32	522.50
宮城	33	888.00	宮崎	33	519.50
鳥取	34	859.00	鹿児島	34	519.00
群馬	35	853.50	茨城	35	517.00
山梨	36	829.50	富山	36	513.50
茨城	37	822.00	福島	37	512.50
和歌山	38	795.50	群馬	38	512.50
山口	39	793.00	島根	39	502.00
富山	40	790.00	和歌山	40	494.50
岩手	41	779.00	長崎	41	489.00
山形	42	767.00	沖縄	42	475.00
沖縄	43	746.00	岩手	43	461.50
島根	44	720.00	石川	44	459.00
秋田	45	689.50	秋田	45	420.50
高知	46	670.00	高知	46	416.50
徳島	47	602.50	徳島	47	396.50

## 種別毎比較(獲得得点)

■ 第79回国スポ

■ 第78回国スポ



競 技 名	令和6年 第78回 (佐賀)					令和7年 第79回 (滋賀)				
	獲得得点					獲得得点				
	少年 男	少年 女	成年 男	成年 女	合計	少年 男	少年 女	成年 男	成年 女	合計
スケート (スピード)	6.0	—	—	—	6.0	4.0	—	0.0	—	4.0
スケート (フィギュア)	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
アイスホッケー	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
スキー	38.5	21.5	20.0	24.5	104.5	17.0	20.5	31.0	19.5	88.0
陸上競技	0.0	1.0	0.0	1.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0
水泳 (競泳)	13.0	7.0	0.0	—	20.0	0.0	0.0	0.0	7.0	7.0
水泳 (水球)	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
水泳 (OWS)	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
水泳 (飛込)	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
水泳 (ATS)	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
サッカー	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
テニス	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0
ローイング	—	21.0	0.0	0.0	21.0	0.0	8.0	0.0	0.0	8.0
ホッケー	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
ボクシング	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
バレーボール	0.0	—	—	—	0.0	30.0	—	—	—	30.0
ビーチバレーボール	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
体操 (競技)	—	—	—	—	0.0	0.0	—	—	—	0.0
体操 (新体操)	—	0.0	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
トランポリン	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
バスケットボール	—	0.0	35.0	—	35.0	—	0.0	35.0	0.0	35.0
レスリング	10.5	—	10.5	—	21.0	13.0	—	8.0	2.5	23.5
セーリング	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ウエイトリフティング	4.0	—	0.0	—	4.0	9.0	—	0.0	—	9.0
ハンドボール	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
自転車	0.0	—	0.0	0.0	0.0	1.0	—	0.0	0.0	1.0
ソフトテニス	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
卓球	—	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0
軟式野球	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
相撲	0.0	—	7.5	—	7.5	0.0	—	0.0	—	0.0
馬術	2.0	—	0.0	—	2.0	7.0	—	—	—	7.0
フェンシング	3.0	0.0	0.0	9.0	12.0	0.0	9.0	0.0	6.0	15.0
柔道	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0
ソフトボール	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
バドミントン	—	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
弓道	—	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0
ライフル射撃	4.0	1.0	1.0	0.0	6.0	1.0	6.0	0.0	—	7.0
剣道	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
ラグビーフットボール	—	—	—	—	0.0	0.0	—	40.0	—	40.0
スポーツクライミング	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
カヌー (SL・VWV)	—	—	11.0	14.0	25.0	—	—	13.0	—	13.0
カヌー (SP)	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
アーチェリー	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
空手道	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
銃剣道	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
クレー射撃	—	—	18.0	—	18.0	—	—	—	—	0.0
なぎなた	—	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0
ボウリング	—	—	—	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
ゴルフ	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
トライアスロン	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
小 計	81.0	51.5	103.0	48.5	284.0	82.0	45.5	127.0	35.0	289.5
得点割合 (%)	28.5	18.1	36.3	17.1		28.3	15.7	43.9	12.1	
少年・成年別得点	132.5	151.5				127.5	162.0			
同 割合 (%)	46.7	53.3				44.0	56.0			
男・女別得点	184.0	100.0				209.0	80.5			
同 割合 (%)	64.8	35.2				72.2	27.8			
天皇杯得点・順位	684.0点 45位					689.5点 45位				
皇后杯得点・順位	450.0点 42位					420.5点 45位				

## 国スポ戦略ミーティング・第79回国民スポーツ大会秋田県選手団報告会

令和7年10月29日(水) ANAクラウンプラザホテル秋田

10月29日、ANAクラウンプラザホテル秋田にて「国スポ戦略ミーティング」を開催し、30競技団体から約60名が参加した。今回は、昨年の立食形式から着席形式に変更し、落ち着いた雰囲気の中で意見を交わせる場とした。テーマは「横のつながり」。コーディネーターにはシャバ駄馬男氏を迎え、軽快なトークで場を和ませながら、各団体の率直な現状や課題を引き出し、活発な情報交換が行われた。今回のミーティング後に実施したアンケートでは、「学びはあったが協力関係が生まれるまでは至っていない」という回答が一定数見られた一方で、「他競技の考え方や取り組みが参考になった」「共通する課題があった」といった声もあり、団体間の現状共有が図られた。また、連携してみたい競技として具体的な競技名を挙げた団体や、「動きの特徴が似ている競技とは協力できそう」といった前向きな意見もあるなど、互いに興味や関心が無いわけではなく、相互に協力し合う可能性を見出した団体も少なくなかった。

しかし、実際に合同事業へ踏み出すことに対し課題が先行し、「スケジュール調整が難しい」「指導者・スタッフの不足」「資金や会場の確保が難しい」といった障壁が多数挙げられた。こうしたことから、早期の合同練習や協働の事業といった具体的な取り組みを実現するには二の足を踏んでいる様子であった。それでも、少数ながら「来年度以降、合同の事業を前向きに検討したい」と明確に意欲を示した団体もあり、そうした団体には今後の広がりを期待したい。

今回のミーティングが、すぐに新たな連携事業を生む段階には至らずとも、互いの実情を知り、横のつながりを意識するきっかけとなり、これからの時代の新たな取り組みの在り方を模索するその土台となれば幸いである。他の団体と親密に交流を図れるこの機会を活用し、限りある資源・財源の有効な生かし方を見出し、ハイブリッドな取り組みを創出することを今後も期待したい。



戦略ミーティングに続いて開催された報告会は、大会を振り返るだけでなく、秋田の競技力向上に向けた意識の高揚を図る場となり、来年度以降の取り組みへの期待が高まる会となった。

冒頭では、本会会長の鶴田有司団長より、今大会に出場した選手、そして日頃から支えてきた指導者・関係者への労いと感謝が述べられた。また、多くの方々の協力によって今大会を戦い抜くことができたこと、そして来年度に向け一層の応援と支援をお願いしたいというメッセージが伝えられた。続く本会副会長の田口将総監督の総括では、まず、夏のインターハイでは入賞数3と2010年以来もっとも厳しい状況であったが、各団体の粘り強い取り組みにより、31競技が東北予選を勝ち抜き本戦への出場権を獲得したこと、さらに、出場選手数も増加した点について高く評価できるとした。競泳、自転車などでの手堅い入賞や、少年男子バレーボールの24年ぶりの3位入賞をはじめ、フェンシングの粘り強い戦い、レスリングでの櫻庭選手の2連覇とそれがチーム全体に与えた好影響など、日々の取り組みが形になった例を多く挙げ、各団体における「選手とスタッフが一体となって挑む姿勢」が印象深い成果として紹介された。さらに、多くの団体で“あと一步”の戦いが見られたことに対して前向きな評価が出来るとし、「今年の大会には昨年とは違う手応えがあった」と振り返った。一方で、バドミントン、バスケットボール、軟式野球では悔しい結果が続いたことにも触れ、「勝ちきる力の底上げ」が今後の大きなテーマであると指摘した。また、競技団体の指導者・役員自身が積極的に現場に足を運び、選手を直接支える姿勢の大切さについても言及し、「現場の空気に触れることで指導の視点も変わる」という強いメッセージが伝えられた。

総括の最後には、「ノーアタック・ノーチャンス」という言葉を用いながら、積極的にチャレンジし続ける姿勢の重要性が強調され、冬季競技を皮切りに始まる第80回大会シーズンに向けて「厳しい状況でも必ず成長の余地はある。一つひとつ積み上げていこう。」という力強い言葉で締めくくられた。



## 第80回国民スポーツ大会冬季大会に向けて

大会概要	スケート競技会（スピード・フィギュア）	スキー競技会
開催地	青森県（八戸市） ○スピード YSアリーナ八戸 ○フィギュア FLAT HACHINOHE	青森県（大鰐町） ○ジャイアントスラローム 大鰐温泉スキー場 ○クロスカントリー 青森あじらクロスカントリーコース ○スペシャルジャンプ・コンバインド 花輪スキー場
会期	2026年1月31日（土）～2月8日（日）	2026年2月14日（土）～17日（火）



## 『2026青の煌めき あおもり国スポに向けて』秋田県スケート連盟 佐藤 頌（スピード部長）

昨年度、群馬県渋川市で開催された「伊香保国スポ2025」の少年男子2000mリレーでは第5位入賞を果たした。この種目においての入賞は19年ぶりのことであり、このことは秋田県の推進する「AKITAスーパーわか杉っ子発掘プロジェクト」や「チームAKITA強化・育成システム」といった事業の成果の賜物であると強く感じている。少年男子1000m・1500mに出場した秋田中央高校3年生（当時）の齊藤匡哉は「とまこまい国スポ2024」の少年男子1500mにて3位入賞という成績を残していたため、昨年度大会では複数種目で上位入賞を期待されていたが、実績があることから大変厳しいマークに遭い、残念ながら予選敗退を喫した。今回の国スポの出場見込みは少年男子が2名、成年男子が2名、成年女子が1名と少数ではあるが、少年男子に初出場する中学3年生の選手は世代では全国トップクラスの実力を有し、また、成年種目については先述した齊藤の他にも、少年種目において入賞した実績がある女子選手も出場する。オリンピックの選考に漏れた選手が参戦するなど厳しい戦いが想定されるが、過去の雪辱を果たすことや、強豪他県に一矢報いるために選手それぞれが高い気概を持っている。また、連盟としても中学生～社会人選手が一体となった強化体制を構築し、中長期的な育成計画のもと国スポにおいても安定的に得点を獲得できるよう、関係者が一丸となって競技にかかる活動に取り組んでいる。

我々の活動に理解を示し応援してくれている関係者や県民のため、また、冒頭に述べた事業の成果をさらに強く示すために強い責任感を持って大会に臨みたい。



## 『雪辱を期す』秋田県スキー連盟 畠山 芳彦（競技本部長）

前回大会、「第79回あきた鹿角国スポ2025」の雪辱を期す。男女総合優勝・女子総合優勝を目標に挑んだ地元国スポ、特に女子総合優勝2連覇を4点差で阻まれ準優勝に甘んじ悔しい思いを味わった。本連盟は、常に県スポ協『チームAKITA 1,000点プラン』を念頭に国スポに向かっている。「第80回青の煌めきあおもり国スポ2026」には、強い闘争心をもって向かい、各セクションが今月より雪を求めて北海道を中心に強化合宿を敢行する。特にアルペンチームは、オーストリアへ海外遠征し、ここ数年高得点獲得に結びついていないので、今年は期待を裏切らないものと期待する。現時点で、北海道・長野県に比べて選手層の薄さを感じ非常に厳しいものと把握しており、最低でも前回は上回る男女総合3位、女子総合優勝を勝ち取りたい。その中、成田絆が秋田県に復帰し、ひとつ希望が膨らんだ。上昇する手立てとして、競技種目のフルエントリーを目指し、ゼロ点種目を無くす事が大きな課題。また、前回、クロスカントリー少年男子、個人種目ゼロ点と最悪の状態であったが、国スポまでスキル向上、競技力アップを目指し、汚名返上しなければならない。ジャンプ・コンバインド・アルペン男子も上位に食い込む力強いパフォーマンスが必要。女子に関しては、今現在の調整をしっかりと整えれば、安定した得点を確保できるものと捉えている。各セクション、それぞれの選手達が勝利にこだわりゴールを目指すことが結果に繋がると思います。監督・コーチ陣も強い信念で選手を鼓舞し、ハイパフォーマンスを期待、本部役員も全面的にサポートに務め、選手団全体が行動しやすい環境を提供することが『勝利への道』と大きく展開するものと捉えている。前回の優勝者数・入賞者数を上回ることが、目標設定に近づくものと確信する。

何よりも、県民の皆様方の力強い応援が最大の励ましになりますので声援をお願い申し上げます。

## 【有望選手】

アルペン：森下つぼ実（角館高校）・鎌田宇朗（早稲田大学）

佐藤永梨花（大館東中教員）・生田康宏（東京美装）

クロスカントリー：本田千佳（県スポーツ協会）・畠山香恋（日本大学）

安保胡春（鹿角高校）・澤田大芽（鹿角高校）・中嶋彩恵（秋田北鷹高校）

ジャンプ・コンバインド：成田 絆（小坂スキークラブ）・海沼史人（東海大学）・成田健太（明治大学）

遠田廣斗（鹿角高校）

## 高校スポーツ2025 いざ、冬の陣！



**駅伝競走男子**  
**秋田工業高校（2年ぶり30回目）**

主将 いせ ゆうのすけ  
**伊勢 悠之介**

昨年、全国高校駅伝の舞台に立つことができず、悔しい思いをしました。その悔しさをバネにこの一年間チームとして必死に努力を積み重ねてきました。いいことよりも辛いことの方が多かったです。熊の出没や雪の影響により走る場所が制限される中で、自分たちのやれることを見つけ取り組んできました。その努力の成果を本番では思う存分ぶつきたいと思います。また、日頃支えてくださっている方々への感謝を忘れず、仲間を信じ、出場できなかった高校の思いもタスキに込めて力強い走りをします。チームとしての目標は昨年の目標でもあった8位入賞と県記録更新です。全国のレベルは高く、簡単に達成できることはありませんが、この目標を達成し、結果で恩返しができるようチーム一丸となって頑張ります。勝負は何があるかわからないので、最高の準備をして最高のパフォーマンスを発揮します。



**駅伝競走女子**  
**横手清陵学院高校（初出場）**

主将 こまつ あおい  
**小松 蒼**

私たち横手清陵学院高校陸上競技部は、12月21日に開催される全国高等学校駅伝競走大会に出場します。

これまでは全国大会まであと一步という成績が続いていましたが、今回初の優勝を果たすことができました。これは、日頃からの温かいご声援とご支援があったからこそ成し遂げられたと思います。本当にありがとうございました。

全国大会は非常にハイレベルの戦いとなり、少人数で挑む私たちにとっては厳しい挑戦となります。しかし、私達はその中でも自分達の持っている力を全て出し切り、最高の走りを目指します。そのためには、個々のコンディショニングを徹底し、スタートラインに立つ瞬間まで「やり残したことはない」といえる万全な状態で挑めるようチーム一丸となって努力していきます。そして、ご支援して下さる皆さんへの感謝の気持ちを襷に込めて最後まで走り抜きます。

横手清陵学院高校陸上競技部への応援よろしくお願いします。



**バレーボール男子**  
**雄物川高校（31年連続31回目）**

主将 ながい けいすけ  
**長井 慶介**

私たち雄物川高校男子バレーボール部は、1月5日から東京体育館で開催される春の高校バレーに出場します。今年度、単独チームとして出場した国民スポーツ大会で24年ぶりとなる第3位という成績を収めることができました。チームの強みである粘り強いレシーブから高い打点を生かした高さのあるスパイクをすることで、全国の強豪とも戦えるという自信になりました。春高バレーに向け、チームの強みをさらに伸ばしていけるよう、レシーブ、トス、スパイク1本1本の質にこだわって練習しています。

先生方をはじめ、保護者のみなさん、地域の方々、OBの皆様などたくさんの方々に支えていただいていることに大変感謝しております。秋田県代表としての誇りを持ち、これまで支えてくださった全ての方々に勇気と感動を与えられるよう、目の前の1球1球を大切に一生懸命プレーしてきます。応援よろしくお願いします。



**バレーボール女子**  
**秋田北高校（4年ぶり7回目）**

主将 さとう ゆりあ  
**佐藤 由琉亜**

私たち秋田北高校バレーボール部は春の高校バレー秋田県予選でフルセットの激闘の末に優勝し、4年ぶりに出場権を獲得することができました。インターハイでは自分たちのバレーを思うように展開することができずに悔しい思いで終わりました。それ以降の練習では全国でどう戦っていくのか試行錯誤しながら練習に取り組んでいます。体幹トレーニングやウエイトなどの身体づくりから全員が自分自身と向き合い、追い込みの練習ではみんなが本気で挑んでいるからこそチームの絆も深まっていると思います。そして、良い環境でバレーボールができてるのは応援して下さるすべての方々のおかげです。春高はこのメンバーで戦う最後の大会のため少しでも長くバレーボールができるようにチーム一丸となって感謝を忘れずに一戦必勝で頑張ります。応援よろしくお願いします。





- ・全国高等学校駅伝競走大会 12/21
- ・全国高等学校バスケットボール選手権大会 12/23~29
- ・全国高等学校ラグビーフットボール大会 12/27~1/7
- ・全国高等学校サッカー選手権大会 12/28~1/12
- ・全日本バレーボール高等学校選手権大会 1/5~11

- 京都府 たけびしスタジアム京都
- 東京都 東京体育館/京王アリーナTOKYO
- 大阪府 東大阪市花園ラグビー場 ほか
- 東京都 国立競技場 ほか
- 東京都 東京体育館



### バスケットボール男子 秋田工業高校（2年連続5回目）

主将 かまだ りゅうき  
鎌田 琉輝

私たち秋田工業高校バスケットボール部は、ウインターカップ県予選で優勝し、2年連続のウインターカップ全国大会出場権にすることができました。1点差で敗れたインターハイ予選では、ミスや集中力に欠けている瞬間がありました。その反省を活かし日々の練習では、試合を意識し、チームで守ることやインサイドからスリーポイントシュートにつなげる練習を重ね、チーム力を向上させてきました。その結果ウインターカップ予選では、チームディフェンスが機能し、そこからの速攻や良いリズムのオフェンスに繋げることができました。ウインターカップでは、今までの自分たちの努力を信じ、1試合でも多く試合ができるように頑張ります。また、このような大会は自分たちが思っている何倍もの人々に支えられて開催されていることを理解し、これまで支えてもらってきた方々への感謝を忘れず、秋田県代表として誇りを持ち最後まで戦い抜きます。応援よろしくお願いします。



### バスケットボール女子 湯沢翔北高校（※2年連続23回目）

※旧湯沢北高校の出場回数含む

主将 すずき かなな  
鈴木 菜奈

私たちは秋田県予選で優勝し、ウインターカップへの出場権を獲得することができました。夏のインターハイでは2回戦敗退という結果に終わり、多くの課題を残しました。特に勝負どころで判断力やシュートの精度が甘くなってしまうことが、克服すべき大きな壁でした。その課題にチーム全員で真摯に向き合い、日々の練習や試合を通じてチーム力の底上げを図ってきました。そして今、再び全国大会へ挑戦できるチャンスが得られたことを、心から嬉しく思います。本番では、攻撃的な守りからボールを奪い、多彩な攻めで得点を重ねる翔北らしいバスケットボールを東京体育館という大舞台で表現したいと思います。日頃から御支援くださっている皆さんへの感謝の気持ちが伝わるよう、全力でプレーしてきます。3年間の集大成として、これまでの努力が全国の舞台で実を結ぶよう、チーム一丸となって頑張ります。応援よろしくお願いします。



### サッカー男子 秋田商業高校（4年ぶり47回目）

主将 むらた はく  
村田 珀

私たち秋田商業高校サッカー部は、第104回全国高校サッカー選手権大会秋田県大会で優勝し、4年ぶり47回目の全国大会出場権を獲得することができました。夏のインターハイで1勝し、その1勝が自分たちの自信に繋がったので、日々の練習にさらに真剣に取り組み、どんな状況でも跳ね返せる力をつけていきたいです。今年のチームは良い守備から良い攻撃をテーマとし、インターハイの初戦や選手権秋田県大会の決勝などではこのことを体現することができ勝利に繋がりました。先日、抽選会があり対戦相手も決まりました。東福岡高校は第100回大会でも対戦し、惜しくも敗れてしまった相手です。その時の先輩たちの借りを返すチャンスだと思っています。その初戦を勝ち切るためにもさらに練習に励み、秋商らしく躍動感のあるサッカーで勝利を目指します。また、秋田県大会で多くの方々の応援が力になりました。全国の舞台でも引き続き熱い応援をよろしくお願いします。



### ラグビーフットボール 秋田工業高校（6年連続73回目）

主将 かわせ ゆうすけ  
川瀬 雄介

私たち秋田工業高校ラグビー部は、先日行われた第105回全国高等学校ラグビーフットボール大会秋田県予選で優勝し、6年連続73回目の出場権を勝ち取ることができました。優勝することができたのは多くの皆様の御支援や応援が部員の力になったからだと思います。とても感謝しています。今年も昨年と同じく「ベスト8」を目標に掲げました。去年の2回戦敗退という悔しい結果をバネに部員全員で厳しい練習に取り組んできました。また、今年は創部100周年ということもあり、古豪復活への期待を感じています。たくさんのファンの皆様の期待に応えられるよう、全国大会では秋田工業の伝統である「タックル」を十分に発揮し、15人が一体となったダイナミックな展開ラグビーをして、期待や応援をしてくれている皆様、支えてくださった方々に最高の恩返しができるように頑張っています。応援をよろしくお願いします。



## 期待のジュニアアスリート VOL.20

秋田県中学生強化選手の中から、3名の選手に競技の魅力について聞きました。

### スキー(アルペン)競技



つちだ とおこ  
土田 遥心  
(矢島中 3年)

#### Q 1.競技との出会い・きっかけは？

父がスキーのコーチであり、スキー場や大会などについていくうちに、気づいたらスキーを始めていました。アルペンスキーを始めたのは小学1年からです。

#### Q 2.日々の練習で意識していることや大切にしていることは？

スキーは自分で思うような滑りが簡単にはできないので、動画を繰り返し見たり、指導するコーチの意見を参考にしながら、滑りを変えていくことです。

#### Q 3.今シーズンの大会の明確な目標は？

秋田県中学校スキー大会優勝、東北、全国中学校スキー大会では表彰台を目指し、合宿でひたむきに練習に取り組んでいます。

#### Q 4.憧れの選手とその理由は？

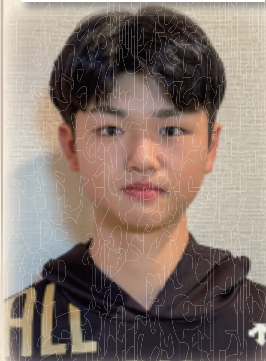
鎌田宇朗選手（早稲田大学2年）です。ユースオリンピックで3位になったり、全日本の大会でも活躍しているので、同じ秋田県の先輩として憧れます。

#### Q 5.アスリートとしての将来の夢は？

高校でもアルペンスキーを続けるので、仲間と切磋琢磨できる環境で常に上位を目指して努力していきたいと思います。



### スケート(スピード)競技



さいとう ゆうと  
齊藤 悠斗  
(桜中 3年)

#### Q 1.競技の魅力・醍醐味は？

陸上では感じることでできないスピードを体感することができます。競技会で良い結果やベストタイムが出たときに、練習の成果が出たと感じることができるのが魅力です。

#### Q 2.競技のために、日常で気をつけていることは？

日々練習できていることを当たり前だと思わず、関わってくださっている方々への感謝を忘れずに練習に取り組んでいます。特に挨拶、感謝する言葉は必ず伝えるように意識しています。

#### Q 3.今シーズンの大会の明確な目標は？

全国中学校スケート大会で優勝することです。

#### Q 4.憧れの選手とその理由は？

小平奈緒選手（平昌五輪優勝）、加藤条治選手（平昌五輪出場）、森重航選手（北京五輪3位）です。同じ短距離選手として、一言では表現できませんが、尊敬できるポイントが沢山あります。

#### Q 5.アスリートとしての将来の夢は？

オリンピックに出場し、優勝することです。そして、スピードスケートを生涯スポーツとして続けていきたいと思っています。



### スキー(クロスカンтриー)競技



さわた りお  
澤田 理央  
(小坂中 3年)

#### Q 1.競技の魅力・醍醐味は？

どんな厳しい天候の中でも行うので、そんな中でも滑りや、やり切った時の達成感が他の競技とは違って大きく感じることができます。

#### Q 2.競技のために、日常で気をつけていることは？

日常では常に運を味方につけるため、応援される人になるためにポジティブな思考、感謝の気持ちを持ち、伝える事やゴミ拾いなど人のためになる行動を積極的にを行い、人と笑顔で関わることを意識しています。

#### Q 3.今シーズンの明確な目標は？

全国大会でクラシカル優勝、フリー3位以内（表彰台に乗ること）です。全て出し切って楽しみます。

#### Q 4.憧れの選手とその理由は？

土屋正恵選手（弘果SRC所属）です。身長があまり大きくなくても、スタートからトップスピードで力強く滑り、更にレース終盤でスパートをかけ、勝ち切る場所です。

#### Q 5.アスリートとしての将来の夢は？

高校まで精一杯競技を続け、将来は自分自身と相談して決めます。



## 令和7年度秋田県中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト パフォーマンステスト

国内外で活躍できるトップアスリートを育成するため、科学的根拠に基づいた運動能力テスト「パフォーマンステスト」を実施し、選手に自身の課題を自覚させ自発的な弱点克服への取り組みを促しました。

参加した秋田県中学生強化選手12競技46名と、チームAKIT A強化・育成システム指定競技の高校生選手6競技71名が、体力要素別に分類された9項目の測定に臨みました。



反復横跳び



立ち幅跳び



20mシャトルラン



リバウンドジャンプ

今年度から測定項目を一新し、走能力を評価する種目として30m走と50m走を競技特性に応じて実施しました。30m走は、スタート直後の短い区間に特化しているため、主に「加加速力」と「反応速度」を評価します。相撲やバスケットボールなど、競技中に瞬間的なダッシュや急激な方向転換が求められるスポーツにとって、この初期加速能力こそがパフォーマンスの鍵となります。一方、50m走は、30m走の能力に加え、最高速度に到達した後の「トップスピード」とその「持続能力」を評価します。スピードスケートやラグビーフットボールなど、より長い距離を高い速度で走り切る能力が求められる競技にとって重要な指標となります。

当日の選手の動きを観察し、トレーニングを指導してくださった沼田幹雄講師(株式会社bigground)からは、「走力以外の項目では、動きの中でのしゃがみ込み、しゃがんでからの切り返し、切り返し時の瞬間的な力の発揮、地面反力を脚・体幹・上半身と伝えることができていない選手が目立つのでトレーニングの必要性がある。」とアドバイスをいただき、即時トレーニングセッションの内容に組み込まれました。また、競技中の心理状態を確認できるメンタルテストも実施し、渡瀬友斗講師(秋田県スポーツ科学センターメンタルトレーニングアドバイザー)からフィードバックを受ける予定です。定期的な体力測定やメンタルテストは、現段階の競技力を可視化し、具体的な目標値の設定や、疲労及び怪我を早期発見するためにも非常に有効なデータとなります。パフォーマンステストを通じ、基礎体力の向上が競技力の向上につながることを選手が認識し、自身の競技に活かしてほしいと思います。

スポーツ界ではこれまで主に、指導者側にアプローチを行い、「スポーツに暴力、暴言、ハラスメントなどはあってはならないもの」という考え方を浸透させてきました。多くの指導者はこの考えを理解し、「だれもが、安全・安心にスポーツを楽しめる環境」づくりに取り組んでいます。

しかしながら、まだスポーツ界からは暴力、暴言、ハラスメントなどの不適切行為(スポハラ)がなくなるまでには至っていません。

では、このような「スポハラ」を無くすことに取り組むのは指導者だけでしょうか？

この問題に対し、スポーツに関わる全員が向き合い、考える必要があるのではないのでしょうか？

スポーツ界から暴力、暴言、ハラスメントなどの不適切行為(スポハラ)を排除し、**だれもが安全・安心にスポーツを楽しめる社会**の実現にみんなで取り組みませんか。

スポーツにおける暴力、暴言、ハラスメントなどの不適切行為を総称し「スポハラ」と呼び、「スポーツ界に「スポハラ」なんていない!」、「まだスポハラなんてやっているの?」という価値観を広げ、スポーツ界から「スポハラ」を追い出しましょう。

その合言葉は、『**NO! スポハラ**』です。

公益財団法人日本スポーツ協会HPより抜粋



私たちは、「スポハラ」のないスポーツ界を目指します。

### 第48回秋田県スポーツ少年団(競技別)交流大会

9月は3種目において、競技を通じて交流を深めた。(※成績は団体のみ掲載)



#### ○バレーボール

9月6日(土)～7日(日)(男鹿市総合体育館・男鹿市若美総合体育館)

●参加数 48団、689名

●優勝 A:横手バレーJr.、B:鷹巣UNITED、C:中通、D:大住、  
E:勝平、F:鷹巣スマイルズ、G:山瀬、H:桜、I:潟上、  
J:VCフェニックス、K:東、L:牛島、M:仁井田、  
N:白神



#### ○柔道

9月21日(日)(秋田県立武道館 柔道場)

●参加数 27団、149名

●優勝 小学生男子・中学生男子:小友唯心塾スポーツ少年団  
小学生女子・中学生女子:修武館スポーツ少年団



#### ○ラグビーフットボール

9月27日(土)～28日(日)(大潟村ラグビー場)

●参加数 24団、234名

●優勝 【低学年】高清水ラグビースポーツ少年団  
【中学生】A:出戸浜・大館ラグビースポーツ少年団  
B:高清水ラグビーAスポーツ少年団  
C:秋田ノーザンレッツジュニアラグビースクールスポーツ少年団  
【高学年】A:金足西少年ラグビースクールスポーツ少年団  
B:秋田ノーザンレッツジュニアラグビースクールスポーツ少年団  
C:高清水ラグビーAスポーツ少年団

### 第52回日独スポーツ少年団同時交流派遣・受入事業

- 期 日 派遣:7月30日(水)～8月14日(木) 受入:8月8日(金)～12日(火)
- 受入先 派遣:シューレスヴィヒ=ホルシュタイン州 受入:北秋田市
- 参加者 派遣団員:佐藤璃恩、小畑 舵、佐藤璃空(大館市)

#### 日独同時交流に参加して

##### 小 畑 舵 (SNOWスポーツ少年団)

私はドイツ研修における交流を通じて、スポーツや日常生活の場での人との関わり方について多くの学びを得ました。特に印象的だったのは、ドイツの人々が年齢や国籍に関係なく対等に意見を交わし、お互いを尊重しながら活動を楽しんでいた点です。競技面でも勝敗だけにとらわれず、仲間と過ごす時間や努力の過程を大切にすることが強く感じられました。この経験から、指導者として大切なのは単に技術や結果を求めることなく、団員一人一人が安心して挑戦できる環境を整えることだと気がきました。また、異文化に触れる中で、自分の価値観だけを基準にせず、多様な考え方を受け入れる柔軟さが指導者においても不可欠であると実感しました。今後、より良い指導者を目指すに当たり、「競技力の向上」と同時に「人間的な成長」を促せるような活動をしていきたいと考えています。スポーツを通じて仲間を尊重する姿勢や異なる考えを受け入れる姿勢を育む指導を心がけたいです。そして、今回の交流で得た学びを生かし、団員たちが国際的な視野を持ちながら、自分らしく活躍できる環境を提供できるよう努力していきたいと思います。



##### 西 村 大 智 (北秋田市スポーツ少年団 受入担当者)

私は事前準備から当日の運営まで多岐にわたる業務を担当し、大変貴重な経験をさせていただきました。本事業は、日独の青少年が文化・スポーツ交流を通じて友情を育み、相互理解を深めることを目的としており、その意義深さを実感する機会となりました。準備段階では、日程調整やプログラム内容の検討、現地との連絡調整など、想像以上に多くの業務がありましたが、関係者の皆様のご協力と実行委員会のチームワークによって円滑に進めることができました。特に言語や文化の違いを越えてコミュニケーションをとる難しさと楽しさを現場レベルで深く感じる事ができたことは、大きな学びとなりました。この事業に参加された皆様が自然に打ち解け、多くの笑顔が生まれていく様子を間近で見ることができ、この事業に関わることができた喜びを強く感じています。



## 令和7年度中間支援組織を活用した地域のスポーツ環境整備強化事業 各地区共催事業

### Fan夏まつりなでしこ&スギっ子ひろば交流会【中央地区：8月3日（日）】

総合型地域スポーツクラブFanの主催、県スポーツ協会共催で交流会が行われた。交流会には、Fanの会員やその他のクラブ会員、地域の子どもたちを中心となってサッカーの交流会が行われた。年齢は、年長から小学6年生までの子どもたちで年齢別にサッカーの基礎を学んだのちゲームを実施する内容であった。参加者は、60名ほどであったが親子でゲームを楽しむ時間などもあり、子どもたちだけでなく大人との交流もあった。交流会終了後には、縁日コーナーやプール遊び、花火タイムなど交流会参加者だけでなく地域の方々も参加して夏まつりを楽しんだ。



### スポーツ&健康フェスタinゆざわ【県南地区：10月13日（月）】

湯沢市の4つの総合型地域スポーツクラブと湯沢市が中心となって実行委員会を立ち上げてクオーレ株式会社、明治安田生命、湯沢市食生活改善推進委員会、松田記念泌尿器科クリニック、にこにこごてん訪問介護ステーション横手ケアセンター、株式会社スズケン、大塚製薬株式会社などの協賛や協力のもと開催された。昨年に比べて会場の規模が小さくなったが300名ほどの来場者が訪れてスポーツと健康についての交流が行われた。



### スポカルきみまちラージボール卓球交流会【県北地区：11月15日（土）】

NPO法人スポカルきみまちの第2回目となるラージボール卓球交流会は、県スポーツ協会の共催で県北地区の総合型地域スポーツクラブが中心となって交流大会が開催された。男女各30名の参加で午前中にシングルス戦、午後からはダブルス戦が行われ、シングルス戦4名、ダブルス戦4組で予選リーグを行った後に各リーグの1位から4位までの順位でトーナメント戦が行われた。最高年齢90歳女性の参加者は上位入賞するなど、白熱したゲームから笑いの多い楽しむゲームまで競技レベルに応じた試合が行われた。



## 『2025アスリート支援・企業セミナー』開催報告

～仕事と競技の両立を目指すアスリート等を支援～

本会では、平成28年7月に厚生労働大臣から無料職業紹介事業の認可を受け、「秋田トップアスリート無料職業紹介所」を設置し、JOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）の就職支援制度「アスナビ」をモデルに、本県におけるアスリート等と企業等のマッチングサポート事業を実施しています。

去る令和7年10月28日（火）、秋田市のさきがけホールにおいて、事業周知などを目的に『2025 アスリート支援・企業セミナー』を開催し、企業関係者を中心に総勢約50名が参加しました。

開会冒頭、令和7年3月末まで採用を決定していただいた事業適用の企業3社に対して感謝状を贈呈致しました。

第1部では事業の紹介をし、第2部では、就職してからの企業とアスリートの生の声をお届けしました。熱のこもったお話を企業様からもアスリートからもいただき好評を得ました。第3部では、事業適用の採用実績のある秋田ノーザンハピネッツ㈱の水野代表取締役社長に講演をいただき、大いに盛り上がりました。

### 《2025 アスリート支援・企業セミナー》

令和7年10月28日（火）14：00～15：30 於：さきがけホール

採用企業感謝状贈呈式（県サポート事業適用企業3社）

（有）藤岡農産・万六建設㈱・山二建設資材㈱

#### 第1部 アスリート等支援事業について

事業内容の紹介

（公財）秋田県スポーツ協会



#### 第2部 主なマッチング選手・企業の紹介（令和7年度4月就職）

☆フェンシング 大塚 昂輝選手（有）藤岡農産

☆カヌー 三島 遊選手 万六建設㈱



☆ラグビー 長田 若椰選手 山二建設資材㈱

☆相撲 平野 颯人選手 ㈱プレステージ・インターナショナル



#### 第3部 講演

演題：「バスケで秋田を元気に

～2026年Bプレミアの展望～」

秋田ノーザンハピネッツ㈱

代表取締役社長 水野 勇気 氏



## トップアスリートの雇用企業に対して感謝状を贈呈しました

本会では、「秋田トップアスリート無料職業紹介所」を開設以降、これまで50人余りのアスリートと企業とのマッチングを成立させてきました。

このたび、令和7年度に県が示すトップアスリート要件に該当するアスリートを採用していただいた企業に対して、「アスリートの雇用に深い理解を示され、本県スポーツの競技力向上と普及・振興に多大なる貢献をされた」として、2025アスリート支援・企業セミナー（令和7年10月28日開催）にて感謝状を贈呈しました。



### ★感謝状を贈呈した企業の紹介★

#### ◆有限会社 藤岡農産（本社：北秋田市）

現在は、米を品種だけで選ぶ時代ではなく、生産地と生産者の確かなブランドこそが品質の証明であるという信念のもと、自社ブランド米「あいかわこまち」を北秋田市から全国のお客様に届けている地域を代表する農業法人です。

#### ◆万六建設 株式会社（本社：仙北市）

創業以来、「多くの人々に利用され、生活に役に立つ仕事をしよう」という信念のもと、60年にわたり歩み続け、地元仙北市を中心とした秋田県下を地盤に、土木一式工事や舗装工事等を担っている企業です。また、これまでに2人のオリンピック（カヌー競技：佐々木将汰選手、佐々木翼選手）を輩出しています。

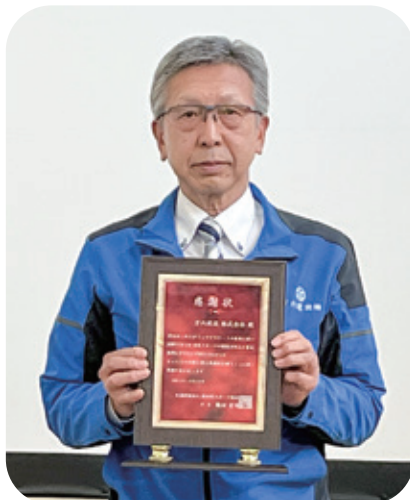
#### ◆山二建設資材 株式会社（本社：秋田市）

建設資材の専門商社であり、建設資材販売と各種専門工事の施工の2つの主要事業を展開しており、「常に地域社会から必要とされる企業であり続けること」を使命に、地域のインフラを支える山二グループとして、暮らしの土台を支えている企業です。

※万六建設株式会社様には、令和2年度に続き2人目の雇用をしていただきました。



(有)藤岡農産  
代表取締役 藤岡智洋様



万六建設(株)  
常務取締役 阿部誠様



山二建設資材(株)  
管理部長 山浅仁様



## 県内スポーツの主なできごと

### 7月

- 6日 第31回 JAWA全日本マスターズアームレスリング選手権男子グランドマスターズ78kg級ライトハンド部門で高橋真(秋田市)が2位

### 8月

- 3日 第67回小学生・中学生全国空手道選手権大会 小学5年男子組手部門で梅山颯斗(横手南小5年)が3位

### 9月

- 5日 天皇賜杯第80回全日本軟式野球大会が本県で開催  
10日 S Vリーグ女子のアランマーレ山形が本県へ本拠地移転  
13日 相撲の世界ジュニア選手権大会 女子中量級(75kg未満)で鳥取城北高2年の石川昊愛(男鹿東中出身)が3位  
21日 バドミントンの国際大会インドネシアマスターズI女子シングルスで舩木さくら(北都銀行)が準優勝  
28日 阪神タイガースの石井大智(秋田高専出身)がレギュラーシーズンで50試合連続無失点のプロ野球新記録をマーク  
第42回 JAWA全日本アームレスリング選手権男子57kg級ライトハンドで千葉英明(湯沢市)が優勝、同レフトハンドで準優勝。同女子57kg級レフトハンドで高橋潤(大仙市)が3位

### 10月

- 5日 トランポリンのワールドカップフランス大会女子シンクロナイズドで高橋明里(秋田市出身)・田中希湖組が2位  
14日 V i r t u s (ヴァータス)世界陸上男子1600mリレーで佐藤柚太(湯沢市出身)が3走を務め銀メダルを獲得  
23日 早稲田大学4年の伊藤樹(美郷町出身)が東北楽天ゴールデンイーグルスから2位で指名を受けた  
24日 日本バレーボール協会は女子のU16日本代表に伊東花優(秋田北高1年)を選出

### 11月

秋田ノーザンハピネッツのヤニー・ウェッツェル、キアヌ・ピンダー、アリ・メザーの3選手が2027年ワールドカップアジア地区予選の母国代表に選出

- 6日 県立中央公園を周回するコースでの開催を予定していた東北高校駅伝競走大会はクマの出没が相次いでいるとして、陸上競技場でのトラックレースに変更して行われた  
13日 日本水泳連盟の2025年度有功章に秋田県水泳連盟副理事長の黒澤貢が選ばれた  
26日 日本野球機構はプロ野球新記録の50試合連続無失点を達成した石井大智にコミッショナーから特別賞が贈られた  
30日 第29期秋田県中学生強化選手として4競技11人を指定



## 賛助会員

秋田県剣道連盟  
伊藤工業株式会社  
インスペック株式会社  
株式会社安藤醸造

株式会社伊徳  
株式会社シーガルジャパン  
株式会社フジモト  
株式会社吉田建設

株式会社ルーラル大潟  
ニプロ株式会社大館工場  
有限会社大晋建設

## 会議録(抄)

### 9月3日 第2回定例理事会

- ・顧問及び相談役の推挙について
- ・秋田県スポーツ賞表彰内規の一部改正について
- ・人見スポーツ賞及び富沢国民スポーツ大会賞、辻ジュニアスポーツ大賞、蒔苗スポーツ指導者賞基金の運用について
- ・特別寄附金の受領について

### 10月29日 第2回強化委員会

- ・第79回国民スポーツ大会について
- ・国スポ戦略ミーティングについて
- ・第79回国民スポーツ大会秋田県選手団報告会について

## 令和7年度 関係団体創立記念行事一覧

関係団体の創立記念行事が次のとおり開催されました。誠におめでとうございます。

今後の益々の発展とご活躍を祈念いたします。

一般社団法人潟上市体育協会	創立20周年記念式典・祝賀会	10月18日	潟上市市民センター昭和館
一般財団法人北秋田市スポーツ協会	創立20周年記念講演会 式典・祝賀会	10月4日 11月3日	市民ふれあいプラザ・コムコム 北秋田市文化会館等

### 編集 後記

暑い夏が過ぎ、ようやくスポーツの秋が到来したと思っていると、街にはクマの出没が相次ぎ、出歩くことすらためらう方もいる状況になってしまいました。これが新たな日常になってしまうと、子ども達の体力低下やスポーツ離れに繋がりはしないかと憂慮しています。

年が明けると、「ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック」や「青の煌めきあおもり国スポ冬季大会」が始まりますが、本県出身選手のたいなる活躍を期待しています。

本誌の発行にあたり、ご多用の折、取材・原稿執筆、写真の提供などご協力くださいました皆様に厚くお礼申し上げます。



想像から創造へ  
あらゆるニーズにお応えする

株式会社 松原印刷社  
(印刷・製本)

〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29  
TEL 018-862-8760 FAX 018-863-0005  
URL <http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

## ISUZU 新型 FORWARD 誕生



秋田いすゞ自動車株式会社

週刊さきがけスポーツ

スクラムに自信 日々研究

河村

3位までフルネームで掲載  
記録、プレー写真 随時受付中!

sports-kirokuyo@sakigake.jp まで

秋田県新報

“Be a blast of wind” ～ 一陣の風になれ

建築物総合管理業

**厚生ビル管理株式会社**

〒010-0911 秋田市保戸野すわ町6番16号

tel:018 823 4061 fax:018 823 4074 E-mail kosei@kosei-buil.co.jp

**TAKEHAN** 総合スポーツ用品・体育施設工事  
**竹半スポーツ**

〒010-0911 秋田市保戸野すわ町6番18号 tel:018-862-1212 fax:018-862-4752

〒010-0911 秋田市保戸野すわ町6番16号  
tel:018-896-4115 fax:018-896-4116

株式会社 光風舎

世の中の課題を、  
わたしの課題として考えてみた。

資源がめぐる真ん中に。

**DOWA**

ドキュメント共有を支援するクラウドサービス

どこからでもアクセス可能、テレワークの推進を支援



クラウド上でドキュメントを共有し情報漏えいリスクを軽減。  
業務効率化をご支援いたします。

**富士フイルム BI 秋田株式会社**

秋田市川尻町字大川反170-92 TEL018-823-4645

社会と共に未来へ歩む  
**ALWAYS CHALLENGE**



**YOKOUN**  
ヨコウン株式会社



☎013-0061 秋田県横手市横手町字大関越 91-1 ☎0182-32-3670

Official Supporter

**秋田銀行** **佐田建設工業**  
株式会社 **秋田クボタ** **佐野薬局**  
**秋田信用金庫** **タリシ機工株式会社**  
**ASK アスクウッド** **花岡土建株式会社**  
秋田製材協同組合  
医療法人 **光智会**  
**KOMATSU**



輝きを 汗に 瞳に このまちに **アリナス**  
能代山本スポーツリゾートセンター

スポーツ 合宿 研修 … に

アリーナ 宿泊 室  
トレーニングルーム ミーティングルーム  
温水プール 温泉 浴室  
研修 室



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1  
JR能代駅から車で10分  
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322

秋田のアスリートたちを応援しています

駄菓子・クジ・縁日グッズ  
お菓子の袋詰

問屋

**しもむら**

駄菓子のしもむら 検索

☎018-832-6766

株式会社松田

株式会社湯沢生コン

地域の発展とともに  
**松田グループ**

株式会社丸栄建設



株式会社出羽運輸

株式会社エィコウ物産

本社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・  
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人  
**秋田税経プランニング**

税理士 高橋 真一

税理士 菅谷 浩

本店 / 秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022  
菅谷会計 / 秋田市土崎港東二丁目16番24号 Tel.018-845-5648

秋田市の下宿から **パシオン北斗大町館**

完全個室(マンションタイプ)  
男子専用(進学・スポーツ応援!)  
3食付き(昼は弁当)  
部活で遅れる食事時間も寮母が対応  
※Bフレッツ対応・wifi無料開放



〒010-0921 秋田市大町一丁目5-38  
TEL018-838-7073 携帯(SMS)080-1847-0998  
<https://www.p-hokuto.com>

株式会社 M・S・C 「M's スポーツクラブ」

1号店:土崎教室



2025年世界選手権出場  
南一輝の応援もお願いします。



2号店:御所野教室



3号店:雲石教室



4号店:K-POPダンス教室



5号店:  
おKASHIな NANDEMO 教室



TEL:070-5325-2412

Mail:msspclub@yahoo.co.jp

☆☆2歳から80歳代までの体操教室!大人の健康運動クラスやアクロバティッククラスも大人気☆☆

テーマ【体験・経験・発見】 バク転を体験して難しい技を経験して新しい発見を見つけないか???

合宿するなら **ナイスアリーナ**へ!

ナイスアリーナで  
合宿してみませんか。  
施設内には合宿棟も  
あります!



由利本荘総合防災公園 ナイスアリーナ

〒015-0013

秋田県由利本荘市石脇字田尻野18番地  
(国道7号線沿い ハローワーク本荘様向い)  
TEL:0184-22-0001  
FAX:0184-25-7080  
HP: <https://shisetsu.mizuno.jp/m-7619>

# スポーツ安全保険®

小さな掛金で充実補償



熱中症も対象



スポあんネット

インターネットでかんたん加入

保険の詳しい内容、資料の請求は、  
ホームページをご覧ください。



#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団  
#放課後事業 #総合型地域スポーツクラブ #教室  
#部活動地域移行 #文化系サークル #ボランティア

## 加入区分・掛金 (年度初回加入時は4名以上)

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども※ (中学生以下)	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円
		B 65歳以上	1,200円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円
子ども※ (中学生以下)	区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	A1	1,450円
大人 (高校生以上)	区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	C 64歳以下	4,850円
	区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	B 65歳以上	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。  
(注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和7年4月1日」を基準とします。

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

### 〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社 ☎ 0120-233-801  
担当課 公務第2部 文教公務室 (平日9:00~17:00)

### 〈共同引受保険会社(令和7年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保



公益財団法人  
スポーツ安全協会

<https://www.sportsanzen.org>

令和7年1月作成 24TC-005947